

小型ビートル

バンダイ メカコレクション

製作・文：政府開発援助

1. 小型ビートルについて

科学特別捜査隊（科特隊）が保有する短距離離着陸（STOL）機で、主力機のジェットビートルと比べて小型であることからその名がある（「三角ビートル」「サブビートル」と呼称されることもある）。偵察や観測に用いられることが多いが、実戦にも参加している。ジェットビートルとは異なり、大気圏外を航行する装備は開発されていない。

2. キットについて

立体化の機会が少ない小型ビートルです。ウルトラシリーズ（マン、セブン、終了...）のメカコレクションの第4弾として発売されました。いわゆるメカコレサイズの箱にランナー二色と水転写デカールが付属して500円＋税というのはなかなか頑張っていると思います。前弾のジェットビートルでは一部をデカールで再現していた塗分けが成型色のみで完全に再現されており、（スナップキットなのに）不自然に隙間が空くことなくきっちり組み上がるのは驚嘆レベルです。なお、機首下面にはフラッシュ弾発射ポッドが取り付けられるようになっています。



前面

3. 製作と塗装について

機首のドームは半透明ということで、型取りして透明なUVレジン（僅かに白色の塗料を混入）で複製したものに交換しました。それ以外はストレートに組んでいます。後ハメを考慮してノズル周りの分割を若干変更しました。付属の飾り台は安定性は申し分ないのですがノズル周りが隠れてしまうので、ヤマト2202シリーズメカコレのスタンドに手を加えたものも用意しました。機体底部にネオジウム磁石を内蔵することで、本体に穴を開けずに飾ることができます。

塗装はクレオスの缶スプレーの銀色とキャラクターレッドを使用し、塗装後に組み立てて付属の水デカールを貼付。丈夫で貼り易い優れたデカールです。最後にクレオスの半光沢クリアーの缶スプレーを吹いてコートしています。



後面